

〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1番1号

TEL:083-252-0288 (代表) FAX:083-252-8099

URL:<https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>

件名	高齢化が進む下関で健康寿命延伸へ ウェアラブルデバイスを用いた市民参加型研究を開始します		
内容	<p>【概要】</p> <p>下関市立大学では、下関市在住の住民を対象に、ウェアラブルデバイスを用いた市民参加型研究を開始します。</p> <p>下関市は、全国の中核市の中でも高齢化が進む地域です。第4期下関市地域福祉計画では、令和3年1月1日時点の高齢化率は35.6%であり、中核市62市の中で2番目に高い水準とされています。また、令和8年3月31日現在の高齢化率は36.9%となっており、健康寿命の延伸や認知症予防は、地域全体で取り組むべき重要な課題です。</p> <p>そこで本研究は、下関市からの補助を受け実施されるものであり、下関市在住者を対象とした複数年の縦断調査を通じて、ウェアラブルデバイスにより可視化した生体データと合わせて、血液検査を含む健診データの縦断的な変化を探索し、認知症のスクリーニングとの関連を検証し、その有用性を明らかにすることを目的としています。</p> <p>全国では、九州大学が福岡県久山町で長年実施している「久山町研究」や、弘前大学と弘前市等が進める「岩木健康増進プロジェクト」のように、地域住民の協力を得ながら健康データを継続的に蓄積し、病気の予防や健康寿命の延伸につなげる取組が進められています。</p> <p>今回の研究は、こうした先進的な取組に学びながら、下関市において、将来的な「下関発の健康増進プロジェクト」へと発展させていくための小さな第一歩です。大学として、地域の課題に研究の力で向き合い、市民の健康づくりに資する知見の蓄積を目指すと共に、下関市の施策であるスマートシティ構想の推進に寄与することが期待されます。</p> <p>つきましては、本研究の趣旨、実施内容及び今後の展望について、下記のとおり記者発表を行いますので、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。</p> <p>【記者会見日時】 2026年6月10日(水) 11時から(30分程度)</p> <p>【場所】 下関市立大学 本館Ⅱ棟5階 大会議室</p> <p>【出席者】 下関市立大学 学長 韓 昌完 (はん ちゃんわん) 看護学部長 中嶋 恵美子 (なかしま えみこ) 看護学部教授 梶原 弘平 (かじわら こうへい)</p>		
問い合わせ先・担当者連絡先			
総務部長	研究・地域連携課長	担当者	連絡先
いわもと たかあき	うちだ よしまさ	うちだ よしまさ	083-252-0288
岩本 隆明	内田 吉政	内田 吉政	
提出日	2026年6月2日	広報連絡先	Tel. 083-253-8967 koho@shimonoseki-cu.ac.jp